

56団体に「愛」贈る

歳末助け合い美術展収益



山陽新聞社会事業団

山陽新聞社会事業団(松

田正己理事長)は「歳末愛

の義援金」として550万円を岡山県の児童福祉、障害者施設やボランティア団体など56施設・団体に贈り

阪本専務理事から目録を受け取る末光理事長(左)

21日、岡山市内で贈呈式を行った。義援金は11月1〜6日に岡山市で開かれた「第70回記念・歳末助け合い美術展」の収益の一部。

贈呈式は岡山市北区祇園の旭川荘であり、事業団の阪本文雄専務理事が同荘の末光茂理事長に40万円の目録を手渡した。末光理事長は「障害者の文化・芸術やスポーツ活動の振興に活用させていただきます」と謝辞を述べた。

旭川荘を除く贈呈先は次

の通り。

ニュー三楽園、あさひ園、たましま寮、みずず荘、あすなろ園、吉備高原清和荘、ここのしま荘、さやかなる苑、ふなぐら荘、吉備の里なでしこ、エスポール・スター、P. P. P.、あしたば、神郷の園、吉備路学園、桑野フレンドリーハウス、ぽればれ、コスモスの園、みさき福祉園、あお空、倉敷市ふじ園、こだま園、こだま園こころ与井、わくわくハンド・ベル、ももその福祉園、かさおか、吉備の里ひなぎく、閉谷ワイクセンター・せと、ワークほほえみ、ハローファクトリー、すだちの家、わかば園、立正青葉学園、みのり園、ももその学園、笠岡学園、津山みのり学園、ココロみのり、キッズみのり、倉敷学園、岡山かなりや学園、倉敷市くすのき園、岡山県立成徳学校、邑久光明園、長島愛生園、備作恵済会古松園、美術自修会、ゆうゆうハウス、高梁市川上訪問看護ステーション、川崎医科大付属病院看護研究会、岡山ろうあ児援護協会、花の会、津島児童学院、妙善寺スカウト育成会、岡山ダイバーシティ研究会

(山内悠記子)